

O's news



2018年4月1日発行

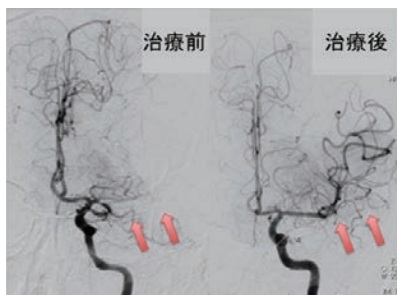
ステントによる脳梗塞の予防

脳神経外科 救急部長 高橋 賢吉

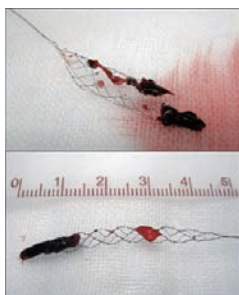
脳梗塞の原因の一つに頸動脈狭窄症があります。食生活の欧米化や社会の高齢化に伴い頸動脈狭窄症による脳梗塞は増加しており、半身不随等の重篤な後遺症につながることも多い疾患です。

頸動脈狭窄症とは脳の広い範囲を栄養する内頸動脈の根元が細くなる病気です。動脈硬化により血管の壁に粥腫というコレステロールのゴミがたまること主な原因です。血流が悪くなることで血栓が形成されたり、たまっている粥腫がはがれて脳の血管にとぶことがあります。狭窄部から流れた血栓や粥腫により脳の血管がつまることで脳梗塞が生じ、突然の手足の脱力や痺れ、呂律が回らない等の様々な症状が出現し後遺症として残る可能性があります。また狭窄部が突然つまることもあり、内頸動脈が根元で詰まることで広範囲の脳梗塞が生じ、寝たきりとなったりそのまま死に至ることもあります。脳梗塞が起こる前に治療することが重要であり、頸動脈狭窄症と診断されれば狭窄の程度によって血をサラサラにする内服治療や細くなった血管を広げる手術治療を選択することになります。狭窄が軽ければ内服治療を行いますが、狭窄がひどい場合やたまっている粥腫が軟らかくとびやすければ手術治療が必要です。手術の方法は二通りあり、直接血管を切り開いて粥腫を取り除く血栓内膜剥離術という外科手術もしくはカテーテルにより血管の中から狭窄部を拡張してステントを置く頸動脈ステント留置術という血管内治療があります。頸動脈ステント留置

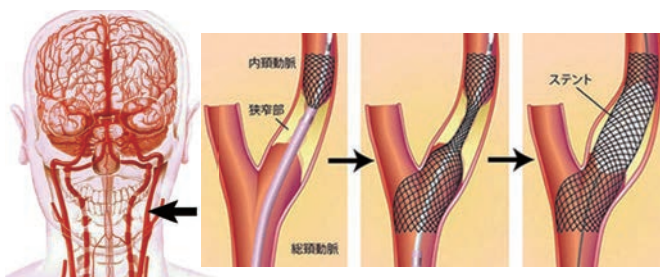
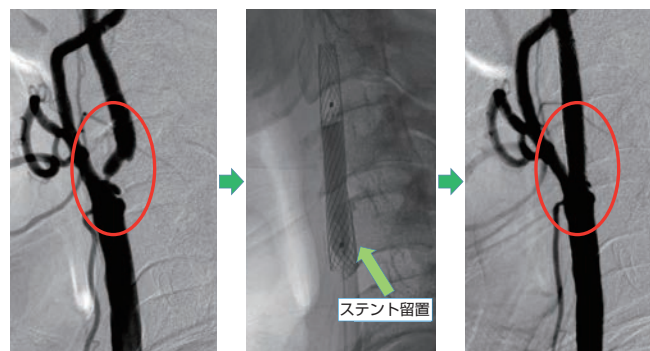
術は最近10年程で発達した新しい治療法で、外科手術に比べて体への負担が少ないことが大きな特徴です。治療は局所麻酔で手術時間は30分程度、傷はカテーテルを挿入する部分の5mmだけでほぼ痛みも伴わない患者さんに優しい治療法ですが、粥腫を血管内腔から押し上げることではがれた粥腫が脳に流れて脳梗塞を起こす危険性があることが大きな欠点でした。最近でははがれた粥腫を回収するためのバルーンやフィルター等、新しい治療機材が日進月歩で発達しており、血管内治療に伴う危険性も少なく、外科手術に劣らない治療法となってきました。最近では特に高齢の患者さんに対しては体への負担が少ない血管内治療を行う機会が増えており、血管内治療専門医により最新の機材を用いたステント留置術を積極的に行っております。いずれの手術も脳梗塞の予防のための治療であり、病気の早期発見・治療が重要です。一時的であっても、突然の痺れや脱力、呂律が回らない、片目が暗く見えにくい等の症状があれば、頸動脈狭窄症の疑いがありますので早急に受診し検査することが必要です。



左中大脳動脈閉塞に対して血栓回収療法を行い閉塞血管は完全に再開通しました。



ステントの中に回収した血栓を認めます。



寒い冬が終わり、少しずつ温かくなってきました。ぽかぽかと温かくなり心地が良くなってくるはずなのに、なんだか体がだるいなど感じている方もおられるのではないのでしょうか？冬から春にかけて気候の変動や日中と朝晩の温度差が激しくなってきます。この気温の変化が私たちの体に負担を与えます。代謝や体温調節などの働きを司っている自律神経は、気温の変化や新しい生活環境に伴う緊張やストレスが増えることで、バランスを崩してしまいます。自律神経のバランスが崩れると、無気力・憂鬱・集中力の低下・だるさ・動悸・頭痛・不眠などの不調が出てきます。

睡眠をしっかりとる・日光浴の時間を設ける・適度な運動を行う・リラックスする時間を作る・食事のバランスに気を付けるなどちょっとした心がけで自律神経の働きを整えることができます。春の不快感を予防し快適に過ごしましょう。



感染防止対策委員会

看護師長 浦川 佳子

● 感染症予防について

普段から気を付けているつもりでも、毎年なぜか感染してしまう風邪やインフルエンザ。もしかしたら、普段の対策方法が、どこか間違っているのかも知れません。

● 感染対策にどうして手洗いが大切か？

風邪やインフルエンザなど、病気を引き起こす感染症の多くは、“手”を介して体内に侵入することが多いと言われています。

風邪やインフルエンザの流行期には、ドアノブや電気のスイッチなど、様々な場所にウイルスが付着しています。そういった場所を触った手で、自分の眼や鼻、口を触ったり、食事をしたことで、ウイルスが体内に侵入します。ウイルスが手に付着することを未然に防ぐことは困難です。

だから、様々な感染症から身を守るためには、手からの侵入を遮断する「手洗い」がとても大切です。

手洗いは、帰宅時や食事前だけでなく、不特定多数の人が触るようなものに触れた後にも可能な限り行うことが大切です。

風邪やインフルエンザなどの感染予防のためには、頻繁に手洗いを行うことが何より大切なのです。



● 正しい手洗いのコツ

流水と石けんを使い、指先、手の甲、親指、指の間と、洗い残しやすい部分も忘れずに、しっかりと時間をかけて手洗いします。

時間の目安は「ハッピーバースデー」の歌を2回歌うぐらいの長さ「約20秒」です。

洗い終わったら、流水でしっかりすすぎ、清潔なタオルで十分にふき取ります。



日本の四季暦

「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo
秋吉 美穂子



うづき 卯月

桜の花の中で、入学式、入社式、そして新年度が始まる4月です。
「卯月」の「う」は「初」「産」を意味し、一年の始めの季節「春」を表現しています。

四節気 春分

3/31~4/4(第十二候) 雷乃発声 /かみなりこえをはつす

春まだ浅いこの頃、寒冷前線の通過で遠くの空で「春雷」が聞こえます。
陽あたりの良い土手などでかわいらしい「土筆(つくし)」が見られます。
灰汁抜きをして佃煮に♪



五節気 清明

4/5~9(第十三候) 玄鳥至 /つばめきたる

南方から一羽ずつ数千キロを海すれすれに飛び続け、燕が渡ってくる頃です。
本格的な春の訪ずれ、農耕の季節の始まりを告げます。
花々が咲き始めると、ミツバチがせっせと蜜を集め飛び始めます。
最近はいろいろな種類の「はちみつ」が楽しめますね。



4/10~14(第十四候) 鴻雁北 /がんきたへかえる

夏鳥のつばめと入れ替わり、冬鳥である雁たちが北へ帰ってゆきます。
筍の季節に欠かせない木の芽(さんしょ)、園芸店にも「葉さんしょ苗」が並びます。
移植をきらうので、残念ですが植えつけても根付くのは稀な植物です。



4/15~19(第十五候) 虹始見 /にじはじめてあらわる

春の深まり大気も潤って、虹も見られるようになり、大地は生命力があふれます。
「春の虹 消ゆまでを子と並び立つ 大野林火」
ちなみに、日本は「7色」ですが、アメリカ「6色」、ドイツ「5色」…など国によって異なるそうです。



六節気 穀雨

4/20~24(第十六候) 葭始生 /あしはじめてしょうず

新緑の季節も間近、水辺には葦の芽が見え始めます。
体が青白く蛍のように発光する「ほたるいか」、富山湾などで、幻想的な風景が見られます。腐敗が早く地元以外では食べられませんが、冷凍技術、運送技術の発展により、私たちにも身近な春の味覚となりました。



4/25~29(第十七候) 霜止出苗 /しもやんでなえいづる

寒さが戻り霜の心配もなくなるこの頃、田植えの準備に忙しくなる頃です。旬の野菜のレタス、玉レタス、サニーレタス、サンチュ、リーフレタスなど種類も豊富♪
様々な栄養素がバランス良く含まれます。チャーハンにスープにもおすすめです。

夏を前にして、煙る
ようにしとしとと優
しい春の雨が降りま
す。稲だけでなく、夏
野菜も植え時です。

今月の花

ミモザアカシア

マメ科アカシア属
原産地: オーストラリア、タスマニア

開 花: 3~4月
花言葉: 「秘密の恋」「友情」



小さな丸い黄色の花をたくさん咲かせる「ミモザアカシア」銀色の葉と共に春の光に輝く樹は、まわりを明るくしてくれます。
イタリアでは3月8日は「ミモザの日」。春の訪れを告げる黄色のミモザの花を愛や感謝を込めて、女性に贈るのだそうです。
丈夫で育てやすく、大きく育つので、剪定が不可欠です。花後その年の夏には、花芽ができるので、7月までに剪定することが大切です。
病院の屋上庭園にも、「パールアカシア」「ミモザアカシア」が植えられています♪



Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	前岡	角田	佐藤	—
	午後	高橋	前岡	角田	—	—
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	小坂
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	—
6診	午前	脳血管内治療外来 高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)/高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	—	脊椎・脊髄外来 山本
7診	午前	神経内科 立花	奇数月第4火曜日	神経内科 赤谷	内科 竈門(カマド)	—
	午後	—	てんかん 丸山	—	内科 竈門(カマド)	<13:00~> 麻酔科 鈴木

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H30.4)

連携協力医療機関のご紹介(No.148)

赤木眼科

院長:赤木 泰

【認定資格】日本眼科学会・医学博士

【診療科目】眼科一般診療、コンタクトレンズ処方

【住 所】明石市大久保町ゆりのき通1-3-2明石ビブレ4F

【電 話】078-962-4500

赤木院長からのメッセージ

主にコンタクトレンズの診療を行っております。

△…土・日・祝は18:00まで

休診:木曜日

※コンタクトレンズ装用が初めての方の受付は診療終了時間の30分前までです。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(10:30~13:00)	○	○	○	/	○	○	○
午後(14:30~19:00)	○	○	○	/	○	△	△



連携協力医療機関のご紹介(No.149)

平野こころのクリニック

院長:平野 吉彦

【認定資格】精神保健指定医・日本精神神経学会精神科専門医、指導医

【診療科目】心療内科・精神科

【住 所】加古川市加古川町寺家町303

ニッケパークタウンクリニックモール加古川2階

【電 話】079-456-1077

平野院長からのメッセージ

認知症の方の相談、治療も行っております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:30~13:00)	○	○	○	/	○	○	/
午後(15:30~19:00)	○	○	/	/	○	/	/

休診:水曜日午後・木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

